

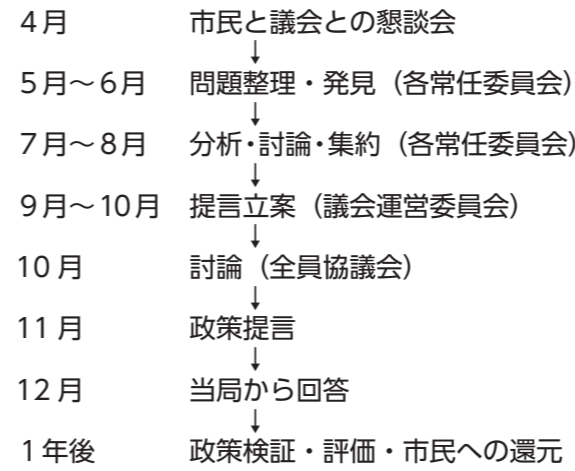
# 平成29年度『市民と議会との懇談会』を開催

市民と議会との懇談会を、4月24日から28日及び6月20日の6日間、市内9会場で開催しました。今年度は、例年の対面式ではなく、いくつかの会場でワールド・カフェ方式を導入し、議員と市民との対話の中から、遠野市の将来像についての意見交換が、和やかな雰囲気の中で行われました。

ワールド・カフェは、あらかじめ決められたテーマに沿って、自由に意見を出し合い、互いの思いや考えの背景を共有し、相互理解を深めることを目的としています。

今後、遠野市議会は、左のような流れで、対話の中から生まれた参加者の気づきについて調査分析を進め、市への提言に繋げてまいります。

## 政策提言検証の流れ (平成29年度)



各会場で出されたご意見や会場の様子を簡単に紹介します。

### 遠野会場

参加者：7名  
「快適な市街地をどう作るか」をテーマに、20年後も公共施設の充実を図りつつ、城下町にふさわしい環境づくりのために何をすべきかなど話し合った。



### 綾織会場

参加者：11名  
ワールド・カフェ  
市役所に結婚仲人課

を新設してはどうか。農作業が元気になる地域も元気になると思う。少子高齢化社会の中で支えあう集落機能の維持のための地区センター機能の充実強化。

### 小友会場

参加者：15名  
ワールド・カフェ  
「新事業をやるときはもっと市民の声を吸い上げるように。議員の生の声を聞いて良かった。普段会話をする機会がない人と話すことが出来、新しい発想も生まれて良かった。」

### 附馬牛会場

参加者：12名  
ワールド・カフェ  
「市政に対して、あまり声を出さずに今まで過ごしてきたが、いろいろ考えたが、いたり、話したり、楽しい時間だった。熱くなった自分の思いが議員の方々に伝わればいいなと思った。」

### 松崎会場

参加者：8名  
「子育て環境をかだつてみよう」をテーマに、20年後も若い世代がのんびり安心して過ごせる松崎町にするために何をすべきかなど話し合った。

### 土淵会場

参加者：17名  
【意見・提言】  
・土淵小学校大規模改修の早期着工と児童館の整備について  
・台風10号災害に係る早期復旧工事について  
・携帯電話の不感地域の解消について

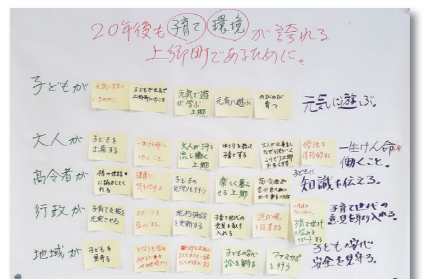
### 青笹会場

参加者：22名  
「住み良い町の環境とは何だろう」をテーマに、20年後も子供が多く、誇れる青笹町であるために何をすべきかなど話し合った。

### 上郷会場

参加者：13名  
「働く場、子育て環境を考えよう」をテーマ

に20年後もすばらしい小学校の体験教育が誇れる上郷町であるためなど話し合った。



### 達曽部会場

参加者：27名  
「児童の安全を守るための取り組み」をテーマに20年後も「子供も地域も元気であること」が誇れる達曽部であるために何をすべき



か話し合った。

### 鱒沢会場

参加者：13名  
ワールド・カフェ  
・農業で生計が成り立つ仕組みを考えていきたい。  
・林業の活かし方。  
・地域活動、農業、福祉もすべて「でんでら野」方式で。

### 宮守会場

参加者：18名  
ワールド・カフェ  
・対話と会話から始まる。もっと人と話し合い、交流を深めていく。子ども達にも伝えていくことがある。  
・地域を守るため、自分がやれることをやる。  
・ワールド・カフェのような市民から直接、知恵や情報をいただく仕組みを多く考えつくる。



## 参加者の声

以前、対面方式での懇談会に参加したこともあるが、グループでの懇談は楽しかった。「20年後どうありたいか」私は玄孫といっしょに元気に暮らしたい！と答えたが、チームを変えても、みなさん同じことを考えているなあと感じた。地元の議員ともこのような懇談の場が増えるといいなと思う。



(宮守町 菊池攻さん)

ワークショップ型は自由発言で議員さんとの距離が近く感じて良かった。遠野は先人達がつくりあげてきた広大な土地という財産があるので生産・加工・販売の農業を元として活性化できるまちになってほしいと願う。先人の知恵にたくさんの子供の笑顔、若者の夢が集結するのが理想である。懇談会では、「将来を見据え若者が定住し、これからを盛り上げるまち」等の意見が圧倒的に多く出たが、自分の子供でさえ市外、県外で就労、生活している中で魅力あるまちづくりとはどんなものなのか、大きな課題と感じた。次回は、若者限定でワークショップの開催を試みてはどうだろうか。

(小友町 菊池恵美子さん)



## 市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部をご紹介します。(文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。)



議員の皆様は大変、熱心に議論されており、毎回楽しみにしています。  
(上郷町、33歳、男性)

議会だよりの表紙を見て読んでみました。介護業界の人材不足、でも活動もはじめているんですね。応援しています。  
(松崎町、49歳、女性)

議会だよりは身近な話題が多く、関心を持って読ませて頂いています。  
(綾織町、65歳、女性)

わたしのひとことを読んで、なるほどなあと思いました。私も67歳になっていますが、遠野市に何か貢献できることはないかなあと考える今日この頃です。  
(上郷町、67歳、男性)

「とおの議会だよりの正直ぱらっとめくるくらいでしたが、グラフで見る平成29年度一般会計予算で、使うお金のグラフ科目の下に説明が記され、使いみちが分かりやすい。クイズに応募するためには、内容を読まなければならない、全ページ読みました。  
(宮守町、69歳、男性)